

ぐ れん じ ごく  
**紅蓮地獄** (その一)

地獄といえば、一般に熱いというイメージがあります。しかし、極寒の地獄もあります。地獄には、八寒八熱による責め苦があり、これを「八寒八熱地獄」といいます。

紅蓮地獄は、八寒地獄の第七番目にあります。寒さでシモヤケになれば皮膚が赤くただれ、痛痒くなります。紅蓮地獄に堕ちた罪人は、極寒のために皮膚の全身が赤く腫れあがって、肉が裂けて流血し、真っ赤な花が開いた状態になります。まるで紅い蓮の花が開いたような体の姿です。美しく燃えるような紅い蓮華には、とんでもない怖い地獄の世界が隠されているのです。

紅い蓮華をサンスクリット語では「パドマ」といいます。高野山に「パドマ」という名前の喫茶店があります。これから冬にはいる高野山では厳しい寒さに耐えて過ごさねばなりません。高野山のパドマは紅蓮地獄を連想してしまいましたが、「地獄も極楽もあなた次第」という仏さまからのサインということでしょうか。高野山は、昔から敵も味方も呑み込んでしまう聖地ですから、考えようによれば、高野山らしい店名だと思います。

仏典では白蓮華、紅蓮華、青蓮華、黄蓮華などが登場します。このうち青蓮華と黄蓮華がスイレンと言われていますが、解釈が錯綜しており、とくに黄蓮華については専門家でも意見が分かれています。不可解な蓮華のようです。

では、次回から紅蓮地獄へご案内いたしましょう。

け、け、け、け、け……………